

稲荷山のいいつたえのはなしです。

「山城国風土記」という古い本にかかれています。

はたのいろこという人が、ある日まるいおもちをまことにし  
て弓をひきました。おもちのまん中を矢がいぬくと、なん  
とあたったおもちが白いとりになって、そのままバタバタ  
ととびさつていきました。そのとりがとまった山になんと  
稲荷がはえたので、その山を稲荷山とよび、ここに稲荷大神  
をまつた、というものです。

じつはこれによくはなしが「豊後国風土記」とい  
う古い本にもかかれています。それによると、景行天皇と  
いう人がよのなかをおさめていたころ、今の大分県のあた  
りは「うなで」という人がリーダーでした。中臣村にさし  
かかったとき日がくれてしまったのでそこでひととばんす  
ごしました。つぎの日のあけがた、北のほうから白いとり  
がたくさんとんできました。うなでがふしぎにおもつてみ  
ていると、なんと、そのとりがあつというまにおもちに  
変身しました。これはどうしたことだろう、とおもつてみ  
ていると、こんどはあつというまにおもちがおいもに変身  
しました。そのおいもは何千株にもふえて、冬でもかれず  
にあおあおとしていました。それで、うなでがこのことを  
天皇にもうしあげると、天皇は豊かなみのに感謝して、  
そこを「豊の国」とよぶようにいったというのです。

豊の国は豊前と豊後にわかれるのですが、このあたりに  
もととすんでいたのは秦氏と中臣氏なのです。どちらも  
大むかしに力をもっていたグループです。ここ、山科にも  
どちらもかんけいがありますよ。

おんどくサイン↓

① なんのはなしでしょう？

② 稲荷山のいいつたえはなんという本にかかれ  
ていますか？

③ おもちをまことにした人はだれですか？

④ 稲荷山のかみさまの名まえをかきましょう。

⑤ 稲荷山のいいつたえにたものはなんとい  
う本にかいてありますか？

⑥ 豊の国といははじめたのはだれですか？

⑦ 山城・豊後の風土記どちらにもでてくるたべ  
ものは？

⑧ 豊後にあつて山城にでてこないたべものは？

⑨ あつているものに○をつけましょう。

( ) 秦氏と中臣氏はなんのかんけいもない。

( ) 秦氏と中臣氏はおなじいみである。

( ) 秦氏と中臣氏は山科ともかんけいがある。

⑩ おもつたことを五行でまとめましょう。

できばえは？



稲荷山の伝説の話です。

「山城国風土記」という古い本にかかれています。

秦伊呂具(伊呂巨と同じ人)が、ある日丸いおもちを的にして弓をひきました。おもちの中心を矢がいぬくと、なんと当たったおもちが白鳥になって、そのままバタバタととび去っていきました。その白鳥がとまった山の峰になんと稲が生えたので、その山を稲荷山と呼び、ここに稲荷大神をまつった、というものです。

じつはこれによく似た話が「豊後国風土記」という古い本にもかかれています。それによると、景行天皇が世をおさめていたころ、今の大分県のあたりは「うなで」という人がリーダーとしておさめていました。中臣村にさしかかったとき日がくれてしまったのでそこで夜をすごしました。次の日の明け方、北の方から白鳥がとんできました。しかも、一わではなく何わもきてそこで羽を休めました。うなでがふしぎに思って見ていると、なんと、その鳥があつというまにおもちに変身しました。これはどうしたことだろう、と思つて見ていると、こんどはあつというまにおもちがおもちに変身しました。そのおもちは何千株にもふえて、冬でもかれずにおおあおとしていました。それで、うなでがこのことを天皇に申しあげると、天皇は豊かなみのりに感謝して、その土地を「豊の国」とよぶようにい

つたというのです。  
豊の国は豊前と豊後にわかれるのですが、このあたりにもともとすんでいたのは秦氏と中臣氏なのです。どちらも、古代、力をもっていたグループです。ここ、山科にもどちらもかんけいがありますよ。

音読サイン↓

① なんの話でしょう？

② 稲荷山の伝説はなんという本にかかれていますか？

③ おもちを的にした人はだれですか？

④ 稲荷山のかみさまの名前をかきましょう。

⑤ 稲荷山伝説にたものはなんという本にかいてありますか？

⑥ 豊の国といははじめたのはだれですか？

⑦ 山城・豊後の両風土記に共通するたべものは？

⑧ 豊後の話にあつて山城の話にないたべものは？

⑨ あつているものに○をつけましょう。

( ) 秦氏と中臣氏はなんのかんけいもない。

( ) 秦氏と中臣氏は同じいみである。

( ) 秦氏と中臣氏は山科ともかんけいがある。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

できばえは？



稲荷山の伝説の話です。

「山城国風土記」という古い本に書かれています。

秦伊呂具(伊呂巨と同じ人)が、ある日丸いおもちを的にして弓をひきました。おもちの中心を矢がいぬくと、なんと当たったおもちが白鳥になって、そのままバタバタととび去っていきました。その白鳥がとまった山の峰になんと稲が生えたので、その山を稲荷山と呼び、ここに稲荷大神をまつった、というものです。

じつはこれによく似た話が「豊後国風土記」という古い本にも書かれています。それによると、景行天皇が世をおさめていたころ、今の大分県のあたりは「うなで」という人がリーダーとしておさめていました。中臣村にさしかかったとき日が暮れてしまったのでそこで夜をすごしました。次の日の明け方、北の方から白鳥がとんできました。しかも、一羽ではなく何羽もきてその地で羽を休めました。うなでが不思議に思って見ていると、なんと、その鳥があつという間におもちになりました。これはどうしたところだろう、と思つてなおも見ていると、今度はあつという間におもちがおいもになりました。そのおいもは何千株にも増えて、冬でも枯れずにあおあおとしていました。それで、うなでがこのことを天皇に申し上げると、天皇は豊かなみのりに感謝して、その土地を「豊の国」と呼ぶように言ったというのです。

豊の国は豊前と豊後にわかるのですが、この辺りにもともと集団ですんでいたのは秦氏と中臣氏なのです。どちらも、古代、力を持っていたグループです。ここ、山科盆地にもどちらも関係がありますよ。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② 稲荷山の伝説はなんという本に書かれていますか？

③ おもちを的にした人はだれですか？

④ 風土記の意味を調べてかきましよう。

⑤ 稲荷山伝説に似たものはなんという本に書いてありますか？

⑥ 豊の国の名付け親はだれですか？

⑦ 山城・豊後の両風土記に共通する食べ物は？

⑧ 豊後の話にあつて山城の話にない食べ物は何？

⑨ あっているものに○をつけましよう。

( ) 秦氏と中臣氏は無関係だ。

( ) 秦氏と中臣氏は同じ意味である。

( ) 秦氏と中臣氏は深い関係がある。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましよう。

---



---



---



---



---

できばえは？

